

天使大学大学院 看護栄養学研究科

TENSHI COLLEGE GRADUATE SCHOOL OF
NURSING AND NUTRITION

2021



愛をとおして真理へ

看護学専攻(修士課程)

栄養管理学専攻(博士前期課程／博士後期課程)



天使大学



看護栄養学研究科

〔看護学専攻(修士課程)／栄養管理学専攻(博士前期課程・博士後期課程)〕

教育理念

天使大学大学院看護栄養学研究科は、カトリック教育機関として「愛をとoshie真理へ」を建学の精神としています。本研究科はこの建学の精神のもと、看護学・栄養学の各専門分野における高度な専門職業人、教育や専門分野のリーダーとなる人材を育成するとともに、人間の「健康」と「生活」の支援に共通する「看護」と「栄養」を組み合わせた学修を通して、地域住民の保健・医療・福祉の発展に寄与します。

教育目的

天使大学大学院看護栄養学研究科は、教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、学術の理論及び応用を教授研究し、建学の理念であるカトリック精神に基づく「愛をとoshie真理へ」に生き、知的、専門的及び応用的能力を発揮して、人間愛をもって社会の発展に寄与する高度専門職業人を育成することを目的とする。

人材養成に関する目標を次のとおり定める。

- (1) 看護学専攻修士課程においては、看護学に係る最新の知見と高度な専門技術を学修し、保健医療福祉分野の発展に貢献できる高度な専門性を有する人材を育成する。
- (2) 栄養管理学専攻博士前期課程においては、栄養管理学に係る最新の知見と高度な専門技術を学修し、保健医療福祉分野の発展に貢献できる高度な専門性を有する人材を育成する。
- (3) 栄養管理学専攻博士後期課程においては、栄養管理学に係る先端的教育及び研究を行うことにより栄養管理学の高度の専門知識と技術を教授し、自立して研究活動を行い、卓越した教育上の指導能力を有する人材を育成する。

入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

看護学専攻

1. 専門分野の基礎的な知識と技術を有する人
2. 高度な専門職業人として専門分野の発展や社会に貢献する意欲のある人
3. 人間として専門職業人としての倫理観を有する人
4. 専門的なコミュニケーション能力の向上を目指す人
5. 論理的思考と柔軟な発想、グローバルな視点を持って探究できる人
6. キリスト教的人間観に基づく人間愛の実践を志す人

栄養管理学専攻【博士前期課程】

1. 栄養学分野の発展に貢献したい人
2. 栄養管理を行う高度な専門職業人として社会貢献を志す人
3. 栄養管理を行う高度な専門職業人としての高い倫理観を探究したい人
4. 栄養管理に関わる専門的なコミュニケーション能力の向上を目指す人
5. キリスト教的人間観に基づく人間愛の実践を志す人

栄養管理学専攻【博士後期課程】

1. 栄養学分野の発展に貢献できる基礎的な能力を備えている人
2. 栄養管理を行う高度な専門職業人として社会貢献を行う意思のある人
3. 栄養管理を行う高度な専門職業人としての高い倫理観を備えている人
4. 栄養管理に関わる専門的なコミュニケーション能力を備えている人
5. キリスト教的人間観に基づく人間愛の実践を志す人



看護栄養学研究科長
進藤 正信

天使大学大学院看護栄養学研究科は、高い倫理観と高度な専門知識を有し、看護栄養学の発展と社会貢献を目指す高度専門職業人の育成を図ります。

超高齢社会の到来にともない、より高度な看護や栄養管理が社会的に求められるようになってきました。天使大学大学院看護栄養学研究科は、このような時代のニーズに適うリーダーとなる人材の育成をめざしており、看護学・栄養学の発展ならびに社会貢献を志す方々の入学を歓迎いたします。

看護学専攻修士課程は実践コースと修士論文コースがあり、実践コースにはより高度な実践力を身につけた保健師を育成する保健師コース、専門看護師の教育機関の認定を受け高度実践看護師の取得を目指すホスピス緩和ケア看護学コース、老年看護CNSコースに加えて2020年度から精神看護CNSコースが開設されました。

修士論文コースは公衆衛生看護学・精神看護学・成人看護学・老年看護学・母性看護学・小児看護学の6つのコースからなっています。これらの課程を修了し高度な看護学を身につけた修了生は、保健、医療の現場で高い能力を発揮するとともに大学教育に携わる機会も増えています。

栄養管理学専攻は修業年限2年の博士前期課程と修業年限3年の博士後期課程からなっていて、博士前期課程修了者には栄養学の専門分野における研究成果を学位論文としてまとめることで修士(栄養学)の学位が授与されます。また、栄養教諭一種免許状を持って入学した方は栄養教諭専修免許状を取得可能です。博士後期課程では、栄養学の基礎領域に関わる教育および研究を遂行できる能力の育成、実践的な栄養学の展開を通して地域や医療の現場に貢献する人材を育成することを目的としています。さらに、仕事を持ちながら学ぶ向学精神にあふれた学生を支援するために夜間や土曜日に大学院講義を開講する社会人大学院生の制度も設けています。

天使大学はカトリック大学として建学された背景から、キリスト教的人間観に基づいた高い倫理観と高度な専門知識を有する専門職業人の育成に関わってきました。大学院においても、高潔な人間性と豊かな感性をもち、専門分野の発展ならびに社会貢献を志す人間愛にあふれた人材が多数輩出されることを望んでいます。

INDEX

看護学専攻	
修士課程	03
【保健師コース】	03
■保健師コース	
【高度実践看護師コース】	05
■ホスピス緩和ケア看護学コース	
■老年看護CNSコース	
■精神看護CNSコース	
【修士論文コース】	08
■公衆衛生看護学コース	
■精神看護学コース	
■成人看護学コース	
■老年看護学コース	
■母性看護学コース	
■小児看護学コース	
栄養管理学専攻	
博士前期課程	11
博士後期課程	14
論文テーマ	15
共通科目	16
働きながら大学院に通いたい方へ就職先	
長期履修学生制度	17
学費・奨学金	18

看護学専攻

修士課程

〈修業年限〉2年 〈学位〉修士(看護学) 〈入学定員〉14名

保健師コース

保健師コース

〈取得可能資格〉保健師国家試験受験資格

本コースにおける所定の単位を修得し、学位論文審査および最終試験に合格すると、**修士(看護学)**の学位が与えられ、**保健師国家試験受験資格**を取得することができます。本コースに出願するには、**看護師の免許**が必要です(取得見込可)。

地域で暮らす人々の健康と生活を護るために、専門性の高い実践力をもち、分析力・研究力、政策提言に優れた保健師を育成します。

保健師教育の質の向上が求められています

疾病構造の変化や少子高齢化、地方分権の進展などの社会環境の変化に伴い、保健師に求められる社会的ニーズは多様化しています。現場からも教育の質の向上を求める声が上がっており、「保健師助産師看護師法」改正により保健師の教育年限が延長され、資格取得に必要な単位数も大幅に増加しました。天使大学では、より充実した教育を目指し大学院での教育を選択しました。保健師として自信を持って働くために大学院への進学をお勧めします。

専門性の高い実践力を身に付けた保健師を養成します

地域の健康問題は複雑化して、生活習慣病、介護予防、虐待、メンタルヘルス、感染症、自然災害、健康格差など様々な対策が求められています。保健師には、これらの課題に取り組み立ち向かっていくための高度な知識や技術が必要であり、「個人・家族、集団を支援する力」と同時に、人々が抱える健康問題の背景にある地域の課題を分析し、住民とともに解決していく「地域を支援する力」の両方の実践力が求められます。大学院は2年間で、講義、演習、実習、研究を積み上げ、理論と実践を統合させ、現場の課題を探求できる実践力・研究力のある保健師を養成します。

ディプロマ・ポリシー

- ・キリスト教の人間観を基盤に公衆衛生看護の理念に基づく倫理観をもって公衆衛生看護ができる。
- ・科学的根拠と文化的感受性をもって地域の健康課題を明確にし、関係者と共有することができる。
- ・グローバルな視点で将来を見据え、地域ケアシステムを評価し、施策化、政策化を提言できる。
- ・人々の健康増進能力を高め、複雑な健康課題を解決するために関係者と連携・協働して支援できる。
- ・公衆衛生看護実践における課題を見出し、適切な研究方法を選択し、成果をまとめることができる。
- ・保健師の責務を遂行し公衆衛生看護の向上を図るために自ら課題を見出し主体的に学ぶ姿勢がある。



カリキュラム・ポリシー

- ・キリスト教の人間観と公衆衛生看護の理念、看護職としての倫理観のもと公平な看護を自律して実践できる保健師の養成に必要な科目を主体的に学修するプログラムを提供する。
- ・人々の健康を多面的にとらえ科学的根拠をもって分析できる力を育成するために、公衆衛生大学院のグローバルスタンダードとされる分野を網羅する専門基礎科目を提供する。
- ・個人・家族、集団に対する基礎的支援能力を強化するために、援助過程を論理的に思考し、専門性の高い実践に必要な科目を設定し、実習のプログラムを提供し実践能力を獲得する。
- ・地域特性に応じた看護活動を展開できるようになるために、演習と実習を段階的に配置し、地区活動を通して解決に向けた取り組みを住民と協働して実施するプログラムを提供する。
- ・保健師としてグローバルな視点で地域の将来を見据え、人々の健康と生活を護るための社会資源の開拓やケアシステム構築、政策提言できる能力を育成するプログラムを提供する。
- ・保健師としての責務を遂行するために専門性を高め、自己の課題を見出し主体的・継続的に学び、科学的に探究する能力を育成するために、公衆衛生看護課題研究を提供する。

カリキュラム

区分		科目	
看護学・栄養管理学 両専攻共通科目		倫理学特論 人間関係論特論 研究方法論特論 統計学特論 疫学	地域ケアシステム論 健康行動科学特論 医療情報・医療経済 国際保健学特論 国際保健学特論演習
看護学専攻 共通基礎科目		看護理論特論 看護倫理特論 看護研究法I(量的研究) 看護研究法II(質的研究) 看護教育学特論I	看護教育学特論II 看護管理学特論 家族関係論特論 コンサルテーション論
専門基礎科目		薬理学特論 病態生理学 臨床薬理学 精神病理学特論 保健医療福祉政策論 保健医療福祉行政論	疫学・保健統計特論 ヘルスカウンセリング論 代謝栄養学特論 環境保健学 健康社会学 医療人類学特論
専門分野 専門科目	保健師コース	公衆衛生看護学原論 公衆衛生看護活動論I 公衆衛生看護活動論II 健康学習支援演習 家族看護学特論 公衆衛生看護診断 公衆衛生看護管理 健康危機管理特論	産業・学校看護活動論 地域ケアシステム論特論 公衆衛生看護課題研究演習 家族看護学実習 公衆衛生看護展開実習 公衆衛生看護管理実習I 公衆衛生看護管理実習II
	他コースの科目	ホスピス緩和ケア看護学特論II	公衆衛生看護学特論I
		公衆衛生看護課題研究	

〈修了要件〉58単位(30単位(修士課程修了に必要な単位)+28単位(保健師国家試験受験資格取得に必要な単位))



修了生

看護学専攻
保健師コース2018年3月修了
(天使大学看護栄養学部看護学科 卒業)

所属
中頓別町 保健福祉課 保健グループ
(保健師)

充実した保健活動につながる2年間

大学院修了後、個の生活も町全体の様子も見やすい環境で働きたいと思い、道北の小さな町に就職しました。大学院での学びの中では、保健師として必要な能力のうち、自分の得意・不得意が明らかになるので、就職してからは苦手な部分にはより力を入れて学習したり、得意な部分は伸ばしていけるように働くことができています。また、保健師として自分は何をしたいかが明確になるので、将来への目標を持ちながら今何が必要かを意識して働くことができ、やりがいも楽しさも感じながら保健活動をすすめることができています。

多様に変化する今の社会で暮らす人々の健康を支援するためには、これからの保健活動には更に高い能力が求められると考え、大学院で学ぶことを選びました。学修・実習・研究など、どの場面でも自分で考えて表現し行動する力が必要になるので、私自身はかなり苦労しましたが、それらの経験は今の保健活動を根気強く、自信を持って取り組む姿勢に繋がっていると思います。

大学院での2年間は保健師としての自分を育てる本当に大切な時間だったと感じています。ここでの学びを基に、これからも地域に根差した保健活動をすすめていけるよう頑張りたいです。

本コースにおけるこれまでの論文テーマについては15ページをご覧ください。

ホスピス緩和ケア看護学コース

〈取得可能資格〉がん看護専門看護師

学士課程で展開した看護学教育を基礎としながら、ホスピス緩和ケア分野で高度実践看護師を育成します。「高度実践看護師」とは、高度な実践・相談・教育・調整・協働・コミュニケーション・倫理的判断・研究を行う能力を持ち、チーム医療の核となって包括的なケアをマネジメントし、その専門領域においてリーダーの役割を果たす看護師のことです。本コースに出願するためには、**看護師免許を有し、3年以上の看護実務経験**が必要です。

老年看護CNSコース

〈取得可能資格〉老人看護専門看護師

超高齢社会の中で、保健医療福祉の場における質の高いケアの提供をしていくためには、高度な看護を実践できる看護師の育成は不可欠です。本コースは複雑な健康問題を抱える高齢者に対して、ケアとケアを統合した高度な看護実践能力を提供する高度実践看護師を育成する教育課程です。ここでは専門看護師として必要な実践は勿論ですが、教育、相談、調整、研究、倫理について学んでいきます。本コースに出願するには、**看護師免許を有し、3年以上の看護実務経験**が必要です。

精神看護CNSコース

〈取得可能資格〉精神看護専門看護師

保健・医療・福祉現場で必要とされる看護について、精神看護の観点から、心身両面に関する知識と技術を教授します。複雑な健康問題を有する患者にケアとケアを統合し、卓越した直接ケアを提供するとともに、相談、調整、倫理調整、教育、研究を行い、ケアシステム全体を改善することで、看護実践を向上させる高度実践看護師を養成します。本コースに出願するには、**看護師免許を有し、3年以上の看護実務経験**が必要です。

人として、看護師として成長できる道



修了生

看護学専攻
ホスピス・緩和ケア看護学コース 2017年3月修了

所属
社会医療法人禎心会 札幌禎心会病院
看護部管理室
(がん看護専門看護師)

私は、がん患者さんが病気との折り合いをつけ自分らしい生活を送れるよう支援する中で、より高度な知識と技術を獲得したいと考え大学院に進学しました。大学院での2年間は、看護学と哲学の双方の視点から現象を捉え、見えるものから見えないものを見抜くことの醍醐味を実感する日々でした。そして、自分の弱さや未熟さを自覚し、自分の在り方を見つめ直す時間でもありました。この体験があったからこそ、人として看護師として成長する機会を得られたと感じています。

現在は、緩和ケアチームの看護師として勤務しています。症状緩和に関する薬剤調整や精神的苦痛への介入などの依頼に対して、速やかに対応が図れるようチーム内・多職種間の調整を行っています。その他、看護部新人・現任教育の年間プログラム立案・運営管理にも携わっています。修学中に学んだ問題の本質を見極めるための多角的な視点は、どの役割においても役立てることができています。専門看護師の役割を通して、よりよい実践を医療チームで共に見出し提供できるよう励んでいきたいと思っています。

〔高度実践看護師コース〕

高度実践看護師(専門看護師)教育機関

専門看護師(Certified Nurse Specialist)制度の目的と教育課程

専門看護師制度は、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識・技術を深めた専門看護師を社会に送り出すことにより、保健医療福祉の発展に貢献し併せて看護学の向上をはかることを目的としています。(日本看護協会HP参照)

専門看護師教育課程は、保健・医療・福祉現場において、複雑な健康問題を有する患者にケアとケアを統合し、卓越した直接ケアを提供するとともに、相談、調整、倫理調整、教育、研究を行い、ケアシステム全体を改善することで、看護実践を向上させる高度実践看護師を養成する教育課程です。(一般社団法人日本看護系大学協議会高度実践看護師教育課程認定規程参照)

これまでの看護学専攻ホスピス緩和ケア看護学コース修了
多数の修了生が
「専門看護師」
として活躍しています。

これまでに看護学専攻ホスピス緩和ケア看護学コース修了生15名が「がん看護専門看護師(CNS)」に認定されています。主に札幌市内のがん診療連携拠点病院で活躍しています。なお、老年看護CNSコースは2019年度、精神看護CNSコースは2020年度に開設しました。

ディプロマ・ポリシー

- ・キリスト教の人間観に基づく全人的ケアを実践できる。
- ・各専門分野における倫理的配慮意思決定支援ができる。
- ・専門的なエビデンスに基づく実践・相談・教育ができる。
- ・高度なコミュニケーション能力に基づく多職種連携・調整することができる。
- ・組織変革・政策提言に必要な変化エージェントの役割意識を有している。
- ・基本的な研究能力を有し、課題研究を今後の実践に結び付けて説明できる。

カリキュラム・ポリシー

- ・共通科目A群は、看護の実践と研究・教育の基盤となる能力の養うために、看護理論特論、看護倫理特論、看護研究、看護教育特論、看護管理特論、コンサルテーション論を配置した。
- ・共通科目B群は、専門分野の実践の根拠となる基礎的知識を修得のために、基礎科目として、病態生理学、フィジカルアセスメント、臨床薬理学を配置した。
- ・専門分野の専門科目は、専門分野の基礎科目、専門科目における高度な知識・技術・態度を修得し、実践において統合するために専門領域の臨地実習を行う。
- ・課題研究は、専門領域特有の課題を研究し、学位論文としてまとめる科目である。

カリキュラム

区分		科目	
看護学・栄養管理学 両専攻共通科目		倫理学特論 人間関係論特論 研究方法論特論 統計学特論 疫学	地域ケアシステム論 健康行動科学特論 医療情報・医療経済 国際保健学特論 国際保健学特論演習
看護学専攻 共通基礎科目		看護理論特論 看護倫理特論 看護研究法I(量的研究) 看護研究法II(質的研究) 看護教育学特論I	看護教育学特論II 看護管理学特論 家族関係論特論 コンサルテーション論
専門基礎科目		薬理学特論 フィジカルアセスメント 病態生理学 臨床薬理学 精神病理学特論 保健医療福祉政策論	ヘルスカウンセリング論 代謝栄養学特論 環境保健学 健康社会学 医療人類学特論
専門分野 専門科目	ホスピス緩和ケア 看護学コース	ホスピス緩和ケア看護学特論I ホスピス緩和ケア看護学特論II ホスピス緩和ケア看護学特論III ホスピス緩和ケア看護学特論IV ホスピス緩和ケア看護学特論V ホスピス緩和ケア看護学演習I	ホスピス緩和ケア看護学演習II ホスピス緩和ケア看護学演習III ホスピス緩和ケア看護学実習I ホスピス緩和ケア看護学実習II ホスピス緩和ケア看護学実習III
		ホスピス緩和ケア看護課題研究	
専門分野 専門科目	老年看護CNSコース	老年看護学特論I(理論・概念) 老年看護学特論II(健康生活評価) 老年看護学特論III 老年看護学特論IV 老年看護学特論V	老年看護学展開論I 老年看護学展開論II 老年看護学実習I 老年看護学実習II
		老年看護課題研究	
専門分野 専門科目	精神看護CNSコース	精神看護学特論I 精神看護学特論II 精神看護学特論III 精神看護学特論IV 精神看護学演習I 精神看護学演習II	リエゾン精神看護学特論 高度実践精神看護実習I 高度実践精神看護実習II 高度実践精神看護実習III 高度実践精神看護実習IV 高度実践精神看護実習V
		精神看護課題研究	

〈修了要件〉必修科目38単位

本コースにおけるこれまでの論文テーマについては15ページをご覧ください。

| 修士論文コース |

ディプロマ・ポリシー

- ・キリスト教的人間観を基盤に看護の理念に基づく倫理観をもって、実践・管理・教育・研究ができる。
- ・専門分野の高度な知識・技術を修得し、理論、分析・評価力を持ち専門性の高い看護実践ができる。
- ・グローバルな視点を持ち、国内外の研究成果を取り入れ、看護実践・研究・教育に貢献できる。
- ・ケアの質向上のためにシステムを評価し、解決に向けて多職種と連携・協働し、環境を調整できる。
- ・専門分野の課題を洞察し、適切な方法を選択し成果をまとめる基礎的研究能力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー

- ・専門性の異なる院生の共通の学修の場をとおして、研究や実践の基礎となる理論や学問を学び、総合的な視野をもった実践の基礎的能力を修得するために、両専攻共通科目を配置した。
- ・高度専門職としての看護の実践と研究、教育を推進できる基礎的能力を養うために、看護理論、看護倫理、看護研究、看護教育、看護管理などの専門共通科目を配置した。
- ・高度専門職としての専門基礎となる知識・技術を修得するために、広範囲な学問領域にわたり必要な科目を専門基礎科目として配置した。
- ・専門領域における高度な看護実践や研究に必要な能力を養うことを目的に各専門領域に特論、演習科目を配置し、看護実践やエビデンスを追求し、学修を深める。
- ・高度専門職として看護の責務を遂行するために、自己の課題を見出し、主体的・継続的に学び、科学的に探究する研究の基礎的能力を修得するために、特別研究を行う。

公衆衛生看護学コース

地域社会が大きく変化するのに伴って、新たな健康課題に対応できる人材、住民のニーズに基づき、かつ地域特性を生かした健康政策を推進できる行政能力を備えた人材を育成します。本コースは、公衆衛生看護における学識を深め、科学的思考力と研究能力を養い、豊かな人間性に裏付けられた高度な看護専門職業人として保健師をキャリアアップします。本コースに出願するには**看護師**及び**保健師の免許**が必要です(取得見込みも可)。

精神看護学コース

こころの健康問題を持った人が困難な時期を乗り越え、その人らしさを取り戻して生活していくために、どのような支援ができるかを考えます。こころの健康問題は、家庭、学校、職場、そしてあらゆる生活の場で生じます。身体の問題に伴ってこころの問題が生じることもあります。私たちは、看護の立場からこの問題にどのように取り組むことができるでしょうか?自分が取り組む問題の焦点を明らかにし、適切な方法を選んで研究のプロセスをたどり、修士論文を完成します。取り組む問題は、実践、教育、研究いずれでも可能です。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込みも可)。

成人看護学コース

社会の変化や医療技術の進歩を背景に、急性期、危機的状況、慢性期、終末期など様々な健康問題を持つ人々が増えています。そのような人々には専門的な看護が必要とされており、そのニーズに応えるべく、各々の健康問題を持つ成人期にある人々とその家族を対象とするのが成人看護学領域です。個々の健康問題に有効な看護実践を行うための諸理論・概念と看護介入モデルを学びます。臨床での疑問を大切に、ゼミやフィールドワークを通して、理論やモデルなどの看護実践での適用を実践的に学び、個々の関心に応じた研究テーマを探究します。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込みも可)。

老年看護学コース

超高齢社会の日本では、社会保障制度や医療制度の改革等高齢者に関わる喫緊の諸問題がある中、住み慣れた地域でその人らしさを保ちながら人生の終焉を迎えることも課題であります。老年看護は医療機関、施設、地域(自宅)と幅広い場所で提供されることから、研究や実践も広い視野からの探求が求められます。当領域では、様々な生活の場で暮らす高齢者への看護のあり方について、国内外の研究文献のクリティークを行い、各自でテーマを絞って探究していきます。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込みも可)。

母性看護学コース

女性と母子、その家族の健康と安全、周産期のリスクの予防、正常性を維持・促進するための看護ケアを検討します。また、ハイリスクにある周産期の女性と母子、その家族がかかえる問題を統合的に捉え、対象者の経験や意思を尊重しながら、健康で安全な暮らしにつながる個別的なケアを検討します。女性と母子、その家族をめぐる環境が多様に変化し、複雑化していく中で生じる新たな看護課題を捉え、対応していくための感性と科学的思考力、研究能力を養います。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込みも可)。

小児看護学コース

少子化が進む我が国において、核家族の増加や離婚率増加による片親家族の増加、育児不安の親等、子どもが育つ環境がこれまで以上に変化し、虐待や子どもの貧困、子どもの心の病気が増えている。小児看護領域では、子どもに視点をおき、子どもが健康に育つということ、子どもの自己決定や権利を中心に、医療機関、施設、在宅における看護を議論しながら、各自のテーマを探究していきます。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込みも可)。



修了生

看護学専攻
成人看護学コース 2016年3月修了
(天使大学看護栄養学部看護学科 卒業)

所属
天使大学看護栄養学部
看護学科

とても濃厚で貴重な2年間を過ごしました

看護師4年目になった頃、職場で看護学生の指導を行うことになりました。緊張しながらも徐々に患者さんが何を求めているのか考えられるようになり、積極的に学んでいる学生の成長を見て、看護師として経験を積んだ先に教員を目指してみたいという気持ちを持っていました。それから数年経過し、母校の天使大学に成人看護学コースが開設するということを知り、思い切って臨床を離れて進学しました。

大学院では、自分の看護実践を理論に沿って深く振り返り、言語化するというトレーニングを積むことができました。また、外科勤務の時に会った乳がん患者さんへの看護の経験から「腫瘍が自壊した状態で進行乳がんと診断された患者の体験」という研究を修士論文として行いました。修士で行った研究をもっと発展させ、患者さんに還元していきたいと思っています。

大学院で過ごした2年間は、とても濃厚で、貴重で、充実し、自分のステップアップに繋がった時間だったと思っています。

カリキュラム

区分		科目	
看護学・栄養管理学 両専攻共通科目		倫理学特論 人間関係論特論 研究方法論特論 統計学特論 疫学	地域ケアシステム論 健康行動科学特論 医療情報・医療経済 国際保健学特論 国際保健学特論演習
看護学専攻 共通基礎科目		看護理論特論 看護倫理特論 看護研究法I(量的研究) 看護研究法II(質的研究) 看護教育学特論I	看護教育学特論II 看護管理学特論 家族関係論特論 コンサルテーション論
専門基礎科目		薬理学特論 病態生理学 臨床薬理学 精神病理学特論 保健医療福祉政策論 保健医療福祉行政論	疫学・保健統計特論 ヘルスカウンセリング論 代謝栄養学特論 環境保健学 健康社会学 医療人類学特論
専門分野 専門科目	公衆衛生看護学コース	公衆衛生看護学特論I 公衆衛生看護学特論II	公衆衛生看護学演習I 公衆衛生看護学演習II
	精神看護学コース	精神看護学特論I 精神看護学特論II	精神看護学演習I 精神看護学演習II
	成人看護学コース	成人看護学特論I 成人看護学特論II	成人看護学演習I 成人看護学演習II
	老年看護学コース	老年看護学特論I 老年看護学特論II	老年看護学演習I 老年看護学演習II
	母性看護学コース	母性看護学特論I 母性看護学特論II	母性看護学演習I 母性看護学演習II
	小児看護学コース	小児看護学特論I 小児看護学特論II	小児看護学演習I 小児看護学演習II
		特別看護研究	

〈修了要件〉30単位以上

本コースにおけるこれまでの論文テーマについては15ページをご覧ください。

栄養管理学専攻

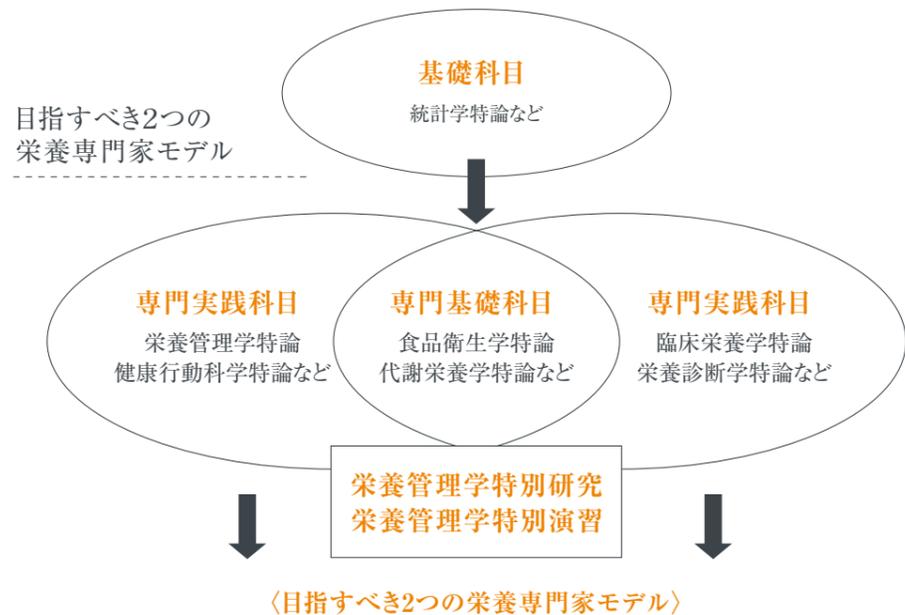
博士前期課程 博士後期課程

博士前期課程〈修業年限〉2年〈学位〉修士(栄養学)〈入学定員〉3名
 博士後期課程〈修業年限〉3年〈学位〉博士(栄養学)〈入学定員〉2名

博士前期課程

〈取得可能資格〉栄養教諭専修免許状(選択)

学士課程で展開した栄養学教育を基礎としながら、「**人間栄養学**」のエビデンス(科学的根拠)に基づいたシステムティックな栄養管理を実践できる卓越した専門性を有する管理栄養士の育成を目指します。本課程に出願するためには**栄養士免許**が必要です(取得見込みも可)。



地域社会で健康づくり・生活の質の向上を支援する栄養専門家

地域社会において、栄養に関わるエビデンスの還元、改善計画立案・実施・評価などを実践する専門職業人を目指す。

医療・福祉の分野で傷病者を支援する臨床栄養専門家

チーム医療などに参画し、他職種と協同して高度な栄養管理能力を有する専門職業人を目指す。

ディプロマ・ポリシー

- ・キリスト教的人間観を基盤に倫理的な配慮を行い、人間の「健康」と「生活」の支援に必要な基礎知識を身に付け保健・医療・福祉に応用できる。
- ・栄養学の専門分野における問題についてグローバルな視点を持って主体的に探究し、連携・調整を図りながら問題解決方法を考えることができる。
- ・栄養学の専門分野における高度な知識を身に付け、研究および栄養管理の実践に適用できる。
- ・栄養学の専門分野における課題について、適切な研究方法を選択し、研究成果としてまとめる事ができる。

カリキュラム・ポリシー

- ・キリスト教的人間観を基盤にした倫理的な配慮を身に付ける。
- ・人間の「健康」と「生活」の支援に必要な学修を通して、地域の保健・医療・福祉の現状について議論できるだけの知識を身に付ける。
- ・グローバルな視点を持つこと、連携・調整を図ることの重要性を学ぶ。
- ・専門分野での実践と研究を支える科目を開設し、統計学や疫学の基礎理論を身に付け、主体的に探究し研究する方法を学ぶ。
- ・食品と栄養に関わる問題を解決するうえで必要とされる高度な知識を身に付け、研究専門分野への応用実践力を養う。
- ・栄養学の専門分野の知識を深め、それを応用し演習・研究を行い、自ら問題解決を行う能力と研究能力を養う。

カリキュラム

区分	科目
基礎科目	倫理学特論 統計学特論 疫学 人間関係論特論 研究方法論特論 医療情報・医療経済 国際保健学特論 国際保健学特論演習
専門基礎科目	食品衛生学特論 食品学特論 食薬理学特論 栄養生理学特論 代謝栄養学特論 栄養免疫学特論 地域ケアシステム論 ヘルスカウンセリング論 環境保健学 健康社会学 医療人類学特論
専門実践科目	栄養管理学特論 栄養疫学特論 健康行動科学特論 健康・食行動理論 健康栄養エビデンス論 栄養診断学特論 栄養管理学総合演習 臨床栄養学特論 栄養管理学特別研究 栄養管理学特別演習

〈修了要件〉30単位以上



在宅患者の栄養管理に関する研究に取り組みたい

天使女子短期大学を卒業した後、通信教育で大学を卒業し、地域の病院に勤務して20年以上が経過した頃、今まで臨床現場で行ってきたことを形にまとめたいと思い、大学院に進学したいと考えました。病院での勤務期間は長いのですが、研究に関しては全く分からない事ばかりで、不安な気持ちでいっぱいでしたが、現在は新しいたくさんの学びにとっても感謝しております。現在、私は勤務先で在宅訪問食事指導を行っており、患者さんが自宅で栄養管理を行うには管理栄養士の力が重要だと感じております。研究に関してはまだまだ学ばなければならない事がたくさんありますが、今後の在宅栄養管理をより効果的に行っていくためにも、研究に取り組んでいきたいと考えています。

たくさんの新しい発見と学びがある大学院は、思い切って入学して良かったと、深く感じています。

在学生

栄養管理学専攻
 博士前期課程 2年次
 ※日本赤十字社 栗山赤十字病院
 医療技術部栄養課に勤務

藤女子大学との大学院間の 単位互換制度を開設しています。

相互の交流および協力の促進と教育の充実を図ることを目的として、単位互換に関する協定を締結しています。これにより、藤女子大学大学院人間生活学研究科において指定の科目の単位を修得した場合には、本学の授業科目に振り替えて単位を授与することができます。

単位互換対象科目(2020年度)

藤女子大学大学院で履修できる科目	左記科目の本学大学院単位振替科目
食品品質学特論I	食薬理学特論
食品品質学特論III	食品学特論
公衆栄養学特論I	健康栄養エビデンス論

Topic

天使健康栄養クリニック

動脈硬化性疾患の発症は著増し、メタボリックシンドロームの予防・治療が衆目を集めています。天使大学では大学院看護栄養学研究科の設置に伴い、「栄養管理学専攻」での研究成果を地域に還元し、地域住民の健康づくりに寄与するために「健康栄養クリニック」を2006年度より開設し、これを通じてメタボリックシンドロームの臨床栄養学的研究並びに健康行動変容研究を行い、大学院生の実践的教育にも役立てています。具体的には、身体測定、血圧測定、血液検査、食事調査、運動能力測定、日常運動量(歩数)調査、生活習慣調査、講義、食事個別指導、運動個別指導など、メタボ

リックシンドロームに焦点を当てた予防・改善指導を行っています。

2008年には、クリニックの実績をもとに申請したプログラム(事業名称:「メタボリックシンドローム予防のための健康栄養指導スキルアップ実習プログラム」)が、平成20年度文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に採択されています。

また、天使健康栄養クリニックは、栄養管理学専攻博士前期課程1年次の「栄養管理学総合演習」と連携しており、天使健康栄養クリニックで得られたデータをもとにした修士論文や博士論文も発表されています。



本課程におけるこれまでの論文テーマについては15ページをご覧ください。

博士後期課程

栄養管理学専攻博士後期課程は、人を対象とした人間栄養学の基礎的及び実践的(応用的)研究を通して、ライフステージや環境、あるいは疾病罹患時における生体機能の変化などを的確に把握し、断片的かつ拡散している高度な「栄養」の専門知識を統合理解することで、今日の栄養学的課題を明らかにし、それらの解決の具体的方策を探り、自立して教育・研究を行い、社会に貢献する人材を育成します。

ディプロマ・ポリシー

- ・専門的かつ高度な教育及び研究を通して栄養管理学の先端のおよび実践的な知識を身に付け、保健・医療・福祉に貢献できる。
- ・栄養管理学に関わる課題においてグローバルな視点を持って主体的に探究し、自立して研究を行うことができる。
- ・栄養学の専門分野における課題について、研究をととして課題解決の方法を提示できる。

カリキュラム・ポリシー

- ・栄養管理学に関わる先端的な教育および研究をととして、社会に貢献できる卓越した能力を育成する。
- ・基礎系と実践系に体系化し、専門的かつ高度な研究を行い、自立して研究する能力を養う。

カリキュラム

区分	科目
共通	研究方法特論
基礎系栄養管理学分野	基礎系栄養管理学特論 基礎系栄養管理学特別研究
実践系栄養管理学分野	実践系栄養管理学特論 実践系栄養管理学特別研究

(修了要件)18単位以上



働きながら学ぶことが出来る環境に感謝しています

大学の助手として勤めていた時、学生をサポートする上でもっと専門的な分野を勉強したいと思い、天使大学大学院栄養管理学専攻博士前期課程に入学しました。長期履修制度を活用し、3年で修了しました。本来であれば、一度退職し、リセットした上で本格的に学ぶというスタイルが理想かもしれませんが、それが叶わない状況、また、どうしても仕事を続けたかった自分にとって、働きながら学べる環境は魅力でした。

そして、3年後に博士後期課程に進み、現在は「北海道産長芋に含まれるプロテアーゼに関する研究」に取り組んでいます。道産食品の代表的な品目である長芋は、漢方などでも注目されている食材ですが、たんぱく質の分解酵素における効果については、科学的根拠は得られていないため、その生化学的諸性質を明らかにし、それをどう活用するかについて研究しています。

現在の仕事は、農学系の大学講師として、農畜産物の利用についての講義や実習を行っています。商品開発においては「健康志向」であることが求められています。管理栄養士として時代に合った消費者のニーズに応えられる提案をし、学生の教育・研究に繋げていきたいと思っています。

在学生

栄養管理学専攻
博士後期課程 3年次
(天使大学大学院看護栄養学研究科
栄養管理学専攻博士前期課程 修了)
※酪農学園大学農食環境学群循環農学類に勤務

本課程におけるこれまでの論文テーマについては15ページをご覧ください。

両専攻

これまでの論文テーマ (一部抜粋)

看護学専攻 修士課程
<p>保健師コース (2018年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者にとって誰もが参加できる場で交流することの意味 3歳児健康診査で精神発達が要経過観察となった幼児をもつ母親の子育ての体験 独居男性高齢者が社会参加に至った動機とその意味 保健医療系大学生における非燃焼・加熱式タバコに対する認識とその影響要因 壮年期にある潜在性結核感染者の内服の継続における体験 転入してきた母親が育児グループに参加する要因 高年初産の乳児をもつ母親の育児における日常の出来事への対処 就業する母親の育児ストレスと育児・仕事の受け止めの特徴
<p>ホスピス緩和ケア看護学コース (2012年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護師が捉える成人急性白血病患者に対する終末期看護の認識と援助 がんで配偶者を亡くした子どもを抱える寡婦の死別後ストレスと対処 外来で治療を継続している再発後期乳がん患者の治療選択における意思決定上の困難 終末期ケアに否定的な認識を抱く一般病棟看護師への支援—リフレクションサイクルによる認識の変化に着目して— 一般病棟から緩和ケア病棟に異動した終末期がん患者の緩和ケアに携わる看護師の経験 終末期がん患者を在宅で看取る家族の危機—アキュレラの危機問題解決モデルによる分析 治療中止時期の進行がん患者の意思決定支援における熟練看護師の臨床判断 終末期がん患者の「食への思い」を支えるための緩和ケア病棟看護師の判断 在宅で臓臓がん患者を看取った家族介護者の体験 終末期がん患者の在宅移行を支援する病棟看護師の困難感 終末期がん患者の家族介護者が在宅での看取りを意思決定していく過程～最期の場所を決めず在宅療養を開始した事例～
<p>公衆衛生看護学コース (2014年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> 脳性麻痺と診断される前にNICUを退院した乳幼児をもつ母親の育児上のニーズ 幼児肥満と生活習慣、親の認識、近隣環境との関連 養護者による高齢者虐待の発生予防に関する市町村保健師の認識とその取組との関連 中堅期にある保健師の地域を活動の対象と捉える理解とそれに影響する経験 1歳6か月児健康診査にて精神発達が要経過観察となった2歳児をもつ母親の「育てにくさ」の認識
<p>成人看護学コース (2015年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> 腫瘍が自壊した状態で進行乳がんと診断された患者の体験—受診前から治療中の体験に焦点をあてて— 手術を受けた頭頸部がん患者の社会復帰に向けた生活体験の径路

栄養管理学専攻
<p>博士前期課程 (2010年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康行動および心理的尺度の変容に対する性格特性の関与—メタボリックシンドローム予防・改善を目指す天使健康栄養クリニックとA社メタボリックシンドローム予防・改善プログラム開発の事例で— ローズヒップを中心としたハーブ茶摂取によるストレス軽減効果の検討 高血圧の食事栄養管理法の検討 黒毛和牛における薬剤耐性大腸菌の分布状況と分離株の分子疫学的解析について 病院栄養士の勤務実態と職業性ストレス・職務満足度に関する調査研究 給食を教材とした栄養教諭が行う食に関する指導の効果的プログラムの検討—A市小学校児童への指導を事例として— マタタビの機能性に関する研究 血糖値上昇抑制に寄与する食品成分に関する研究—とくに北海道産素材に注目して— 北海道産サルナシの果実に含まれるシステインプロテアーゼに関する研究 食生活とメンタルヘルスの関連性 マラソンによる好中球増加とマイオカインの動態 北海道内の高齢者施設における嚥下食対応に関する研究—高齢者施設勤務管理栄養士・栄養士を対象とする実態調査— 保育所における食物アレルギーの対応に関する研究—保育所における食物アレルギー対応食の実態及び給食責任者の意識調査— 病院給食提供業務における問題分析と管理栄養士の給食運営能力向上のための検討—ISM法による階層構造図の構築とMICMAC分析による解釈— 糖尿病患者における概日リズムと疾患コントロールの関連 低アミロース米を用いた嚥下用米粥ゼリーの物性に関する研究 健常者における夕食のみの低炭水化物食の影響
<p>博士後期課程 (2010年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ヒトでの食後熱産生と褐色脂肪組織 メタボリックシンドローム危険因子からみた食行動変容の構造と病態改善の関係 就学前の子どもを育てる母親に対する継続食育教室の検討 ハスカップ茶の創製とその飲用によるストレス軽減並びに自覚的睡眠感の改善 2型糖尿病患者に対するトランスセオレティカルモデルに基づく栄養指導効果
<p>論文提出学位論文 (2013年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ヒト褐色脂肪組織でのエネルギー消費と体脂肪に対する天国の種抽出物摂取の効果 我が国の乳牛および肉牛におけるリステリア菌の疫学的研究 ヒト褐色脂肪組織の体脂肪調整への関与と黒シヨウガ抽出物による活性化に関する研究 運動と食行動変容支援による体力とメタボリックシンドロームの改善—天使健康栄養クリニックにおける実証研究—

共通科目 (看護学専攻 修士課程・栄養管理学専攻博士前期課程)

看護栄養学研究科の特色を生かし、看護学専攻と栄養管理学専攻の両専攻共通科目および両専攻で選択可能な科目を開設しています。(時間割等の事情により履修できない場合があります)

カリキュラム

区分	科目
両専攻共通科目	倫理学特論 統計学特論 疫学 人間関係論特論 研究方法論特論
両専攻選択可能科目	医療情報・医療経済 国際保健学特論 国際保健学特論演習 地域ケアシステム論 健康行動科学特論 代謝栄養学特論 ヘルスカウンセリング論 健康社会学 医療人類学特論 環境保健学

働きながら大学院に通いたい方へ

看護栄養学研究科では大学院設置基準第14条の「教育方法の特例」を適用し、職業を有しながら大学院の教育課程を履修できるよう、一部の科目で土曜、平日夜間の科目開講を行っています。また遠隔地の学生へ配慮して、遠隔授業も一部の科目で実施しています。さらに必要があれば長期履修学生制度(17ページ)を活用することもできます。

就職先 (2012年度～ 一部抜粋)

看護学専攻 修士課程

ホスピス緩和ケアコース

- 札幌厚生病院
- 東札幌病院
- 札幌禎心会病院
- 北広島在宅ケアクリニック 活き粋
- ホームケアクリニック札幌
- がん研有明病院
- 大阪国際がんセンター
- KKR札幌医療センター
- 時計台記念病院

公衆衛生看護学コース

- 札幌市
- 厚真町
- 北海道看護協会
- 北海道立子ども総合医療・療育センター

成人看護学コース

- 天使大学
- 札幌保健医療大学

保健師コース

- 札幌市
- 当別町
- 洞爺湖町
- 清水町
- 中頓別町
- 朝日新聞健康保険組合
- 北海道結核予防会

栄養管理学専攻

博士前期課程

- 旭川市
- 北海道教育委員会
- 天使大学
- 藤女子大学
- 酪農学園大学
- 北海道文教大学
- 医療法人 愛全会
- NTT東日本札幌病院
- 特別養護老人ホーム暢寿園
- 株式会社明治 北海道支社

博士後期課程

- 藤女子大学
- 北海道文教大学

長期履修学生制度

職業を有する等の事情により、標準の修業年限で大学院の課程を修了することが困難な場合、標準の修業年限を超えて計画的に教育課程を履修するための制度です。

対象者

職業を有する等の事情により、標準の修業年限での大学院の教育課程の履修が困難な院生が対象です。ここで言う、「職業を有する等」とは、仕事(正規雇用、非正規雇用などの雇用形態を問わない就業)や家事・育児・介護などの事情により、フルタイム学生としての修学が困難な状況にあることを言います。

看護学専攻および栄養管理学専攻(博士前期課程・博士後期課程)いずれも対象となります(ただし、ホスピス緩和ケア看護学コース、がん看護専門看護師養成コース(1年課程)、保健師コースは対象となりません)。

修業年限

[修士課程および博士前期課程] 3年または4年

[博士後期課程] 4年、5年、6年から選択

授業料

[修士課程および博士前期課程]

規定の年間授業料等(授業料・施設設備費・実験実習費)の2倍の額を、許可された履修期間で除した額を年度ごとに納入する。

[博士後期課程]

規定の年間授業料等(授業料・施設設備費・実験実習費)の3倍の額を、許可された履修期間で除した額を年度ごとに納入する。

「長期履修学生制度」を利用した納入例

栄養管理学専攻(博士前期課程)の合格者で、長期履修学生制度を利用し、「4年」の履修期間が認められた場合(カッコ内の金額は、天使大学・天使女子短期大学卒業生の場合)

(修了までに必要な授業料等 980,000円/年(880,000円/年)×2年間=1,960,000円(1,760,000円))
 (長期履修学生制度を利用した場合の年間授業料等 1,960,000円(1,760,000円)÷4年間=490,000円/年(440,000円/年))

初年度納入金	種別		入学手続時	後期	年額合計
	*入学金		150,000 (0)	—	150,000 (0)
学納金	授業料	150,000 (150,000)	150,000 (150,000)	300,000 (300,000)	
	施設設備費	50,000 (25,000)	50,000 (25,000)	100,000 (100,000)	
	実験実習費	45,000 (45,000)	45,000 (45,000)	90,000 (90,000)	
	*同窓会費	—	50,000 (0)	50,000 (0)	
	合計	395,000 (220,000)	295,000 (220,000)	690,000 (440,000)	

(単位:円)

- 1.カッコ内は天使大学・天使女子短期大学卒業生の納入額です。
- 2.*印は初年度のみ納入です。
- 3.年額を一括納入することができます。

2 ~ 4 年 目 の 納 入 金	種別		前期	後期	年額合計
	学納金	授業料	150,000 (150,000)	150,000 (150,000)	300,000 (300,000)
	施設設備費	50,000 (25,000)	50,000 (25,000)	100,000 (100,000)	
	実験実習費	45,000 (45,000)	45,000 (45,000)	90,000 (90,000)	
	合計	245,000 (220,000)	245,000 (220,000)	490,000 (440,000)	

(単位:円)

- 1.カッコ内は天使大学・天使女子短期大学卒業生の納入額です。
- 2.年額を一括納入することができます。

「長期履修学生制度」の利用を希望する場合の手続きについて

- ・申請手続きは合格後に行います。希望者は、合格通知書に同封する「長期履修学生申請書」、「長期履修計画書」に必要事項を記入の上、期日までに提出してください。
- ・本研究科による審査の結果、長期履修が認められた場合、その旨を連絡します。その後、指示にしたがって「授業料等」を納入してください。長期履修を希望する場合、その審査結果の連絡を受けるまでは、「授業料等」を納入しないでください(「入学金」は期日までに納入してください)。

学費・奨学金 本学卒業生の学費が減免されます

納入金

看護学専攻(修士課程)入学者

(単位:円)

種別	入学手続時	後期	年額合計
*入学金	150,000 (0)	—	150,000 (0)
授業料	480,000 (340,000)	480,000 (340,000)	960,000 (680,000)
施設設備費	0 (0)	0 (0)	0 (0)
*実験実習費 <small>保健師・高度実践看護師コースのみ</small>	25,000 (25,000)	25,000 (25,000)	50,000 (50,000)
*同窓会費	—	50,000 (0)	50,000 (0)
合計	655,000 (365,000)	555,000 (365,000)	1,210,000 (730,000)

- 1.カッコ内は天使大学・天使女子短期大学卒業生の納入額です。
(入学金、授業料、同窓会費を減免)
- 2.*印は初年度のみ納入です。
- 3.年額を一括納入することができます。
- 4.実験実習費の納入は、保健師・高度実践看護師コースの学生のみです。
- 5.長期履修学生制度の適用を希望する方は17ページを参照してください。



栄養管理学専攻(博士前期課程)入学者

(単位:円)

種別	入学手続時	後期	年額合計
*入学金	150,000 (0)	—	150,000 (0)
授業料	300,000 (300,000)	300,000 (300,000)	600,000 (600,000)
施設設備費	100,000 (50,000)	100,000 (50,000)	200,000 (100,000)
実験実習費	90,000 (90,000)	90,000 (90,000)	180,000 (180,000)
*同窓会費	—	50,000 (0)	50,000 (0)
合計	640,000 (440,000)	540,000 (440,000)	1,180,000 (880,000)

- 1.カッコ内は天使大学・天使女子短期大学卒業生の納入額です。
(入学金、施設設備費、同窓会費を減免)
- 2.*印は初年度のみ納入です。
- 3.年額を一括納入することができます。
- 4.長期履修学生制度の適用を希望する方は17ページを参照してください。

栄養管理学専攻(博士後期課程)入学者

(単位:円)

種別	入学手続時	後期	年額合計
*入学金	150,000 (0)	—	150,000 (0)
授業料	300,000 (300,000)	300,000 (300,000)	600,000 (600,000)
施設設備費	100,000 (50,000)	100,000 (50,000)	200,000 (100,000)
実験実習費	90,000 (90,000)	90,000 (90,000)	180,000 (180,000)
*同窓会費	—	50,000 (0)	50,000 (0)
合計	640,000 (440,000)	540,000 (440,000)	1,180,000 (880,000)

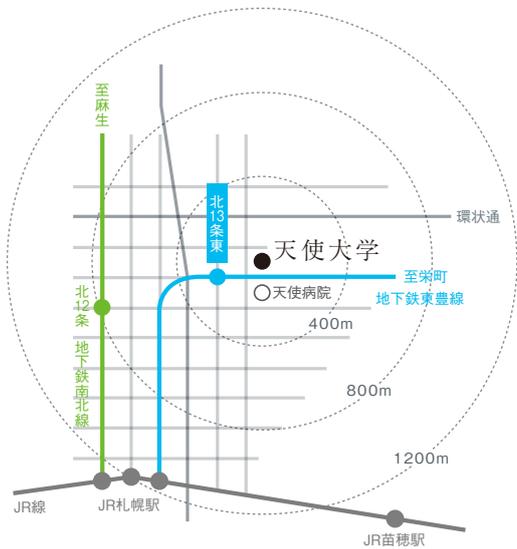
- 1.カッコ内は天使大学・天使女子短期大学卒業生、天使大学大学院修了生の納入額です。(入学金、施設設備費、同窓会費を減免)
- 2.*印は初年度のみ納入です。
- 3.年額を一括納入することができます。
- 4.長期履修学生制度の適用を希望する方は17ページを参照してください。

奨学金

(単位:円)

種類	月額/年額	金額	備考
日本学生支援機構奨学金	第一種	月額	修士課程 50,000または88,000 博士課程 80,000または122,000
	第二種	月額	50,000/80,000/100,000/ 130,000/150,000
天使大学貸与奨学金	月額	30,000または50,000	無利子貸与 経済的に修学困難な者に対し貸与
天使大学同窓会給付奨学金	年額	100,000	経済的に非常に困窮し、成績優秀な者に対し給付

- ※1:上記の金額は変更になる場合があります。
 ※2:上記の他にも、地方自治体や各種団体等の奨学金があります。必要な場合には各自で出身地の都道府県や市町村の教育委員会等に問い合わせてください。
 ※3:奨学金に関する詳細は、本学学務課学生担当までお問い合わせください。Tel:011-792-9204(直通)



Access [交通アクセス]

[札幌駅から]

- ◆地下鉄東豊線「北13条東」駅1番出口より東へ徒歩3分
- ◆地下鉄南北線「北12条」駅2番出口より東へ徒歩15分
- ◆JR札幌駅北口からタクシーで5分 徒歩20分

[苗穂駅から]

- ◆タクシーで8分 徒歩30分

[新千歳空港から]

- ◆JRで札幌駅まで37分



天使大学

看護栄養学部 / 看護学科・栄養学科
 大学院 / 看護栄養学研究科 看護学専攻
 栄養管理学専攻
 助産研究科 助産専攻(専門職学位課程)

〒065-0013 北海道札幌市東区北13条東3丁目1-30

tel.011-741-1051 fax.011-741-1077

<https://www.tenshi.ac.jp>



UNIVERSITY
ACCREDITED
2012.4-2019.3